

7. 総合評価

7. 総合評価

「6. 計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価結果」において検討した各環境要素の評価結果を整理した総合評価は、以下に示すとおりである。

7.1 大気質

大気質の総合評価は、表 7.1-1 に示すとおりである。

大気質について、煙突高さの違いに着目すると、煙突が高いほうがより最大着地濃度が小さくなる。

ただし、煙突からの排ガス濃度は地上レベルでは十分拡散され、環境中のバックグラウンド濃度に比べ、十分小さな濃度になると考えられることから、いずれの案についても環境配慮を講じることで、大気質に係る重大な影響は生じないものと評価する。

なお、事業計画は基本計画検討段階にあり排ガスの諸元は現時点での最大の想定であること、また、気象観測所の平均風速で簡易に予測しているなどの予測の不確実性があることから、方法書以降の手続きにおいては、1年間の現地調査結果を反映するとともに、より検討の進んだ計画諸元を用いて詳細な予測を行うとともに、適切な環境保全対策の検討を行っていくこととする。さらに、本事業は建替事業であることから、建替による環境の変化の程度についても明らかにしていく。

なお、煙突の高さについては、今後実施する環境調査や予測・評価の結果を踏まえ、適切な規模について検討を行っていくこととする。

表 7.1-1 総合評価（大気質）

複数案	煙突高さ	大気安定度	影響の程度			総合評価
			最大着地濃度の比率		最大着地濃度出現距離 (km)	
			煙突高さ80m、大気安定度Aの場合を1.00としたときのすべての予測値の比率	大気安定度ごとに、煙突高さ80mの場合を1.00とした時の煙突高さ59mの予測値の比率		
A-X案 B-X案	地上80m	A	0.64~1.00	1.00	0.53~1.71	煙突高さの違いに着目すると、煙突が高いほうがより最大着地濃度が小さくなる。 ただし、煙突からの排ガス濃度は地上レベルでは十分拡散され、環境中のバックグラウンド濃度に比べ、十分小さな濃度となると考えられることから、いずれの案についても環境配慮を講じることで、大気質に係る重大な影響は生じないものと評価する。
		B		1.00		
		C		1.00		
A-Y案 B-Y案	地上59m	A	0.89~1.28	1.28	0.47~1.43	
		B		1.35		
		C		1.38		

7.2 景 観

景観の総合評価は、表 7.2-1 に示すとおりである。

周辺には東山公園などの景観資源が存在するものの、東山健康運動公園が近傍に位置する土地利用状況であることや、適切な環境配慮を講じることにより、景観に係る重大な影響はないものと評価する。

また、複数案間による影響程度について、地点 1 では水平見込角において目につきはじめる角度と同程度であるものの、仰角においては圧迫感を感じはじめる角度を下回っていた。地点 2 ではいずれの指標も下回っていた。複数案の比較の結果、圧迫感が最も小さい施設配置及び煙突高さは、仰角に関しては B-Y 案、水平見込角に関しては A-X 案及び A-Y 案となった。

なお、事業計画は基本計画検討段階であることから、ごみ処理施設の大きさは想定される最大の規模としていること、施設の外観色彩等は定まっていなことから、予測の不確実性があることから、方法書以降の手続きにおいて、景観の現地調査の実施及びごみ処理施設の計画諸元に基づいたフォトモンタージュ等による予測を行うとともに、適切な環境保全対策の検討を行っていくこととする。

表 7.2-1 総合評価（景観）

施設配置 煙突 高さ		A案 (東西長辺案)		B案 (南北長辺案)		総合評価
		煙突部の仰角	ごみ処理施設の 水平見込角	煙突部の仰角	ごみ処理施設の 水平見込角	
地点1	X案 (80m)	12.1°	9.2°	11.4°	10.4°	圧迫感が最も小さい施設配置及び煙突高さは、仰角に関しては B-Y 案、水平見込角に関しては A-Y 案となった。 周辺には東山公園などの景観資源が存在するものの、東山健康運動公園プールが近傍に位置する土地利用状況であることや、適切な環境配慮を講じることにより、景観に係る重大な影響はないものと評価する。
	Y案 (59m)	10.1°	9.2°	9.5°	10.4°	
地点2	X案 (80m)	5.8°	2.9°	5.5°	4.5°	
	Y案 (59m)	4.8°	2.9°	4.5°	4.5°	